特別警戒期間中、西条市からの「新型コロナウイルス感染症対策」のお願い新型コロナウイルスは、いつ、誰が感染してもおかしくない状況にあります。感染者個人の特定を行う問い合わせや調査、不正確な情報(うわさ)の発信、感染者や感染者のご家族、勤務先への誹謗中傷、心ない批判や差別的対応等は絶対に行わないよう、正確な情報に基づき、冷静な対応を心がけていただきますようお願い申し上げます。

(令和3年1月13日の西条市HP「市長からのメッセージ」より抜粋)

「静かなマスク会食」をお願いします



マスクの着用 3密の回避 手洗い・消毒

それから

- 普段から接触のある身近な方と少人数で行いましょう。
- 十分な換気や手指消毒等、コロナ対策を徹底している 会場、店舗を利用しましょう。
- 長時間にわたる会食は控えましょう。
- 発熱や咳等、体調に異常があるときは出席しないよう にしましょう。

北星会館だより

2021年 令和3年 1月発行 130号



住所 〒799-1341 西条市壬生川682 電話·FAX 0898-64-0321

E-mail hokuseikaikan@saijo-city.jp

子どもたちが町たんけんにやって来た 12月11日(金)

壬生川小学校の2年生児童16名が生活科の学習「もっとなかよしまちたんけん」で、北星会館の見学にやって来ました。この学習のねらいは、地域で働く人と自分たちの生活の関わりを見つけることです。そして、地域の人たちの地域に寄せる思いに気づき、地域に親しみをもつためです。



来館した子どもたちは、はじめに元気よく丁寧に挨拶してくれました。子どもたちからは『北星会館で働

く人は何人ですか。どんな教室がありますか。建物はいつできましたか。何のためにありますか。 どんな仕事をしていますか。何時から何時まで開いてますか。北星会館ふれあいまつりはどんな ことをしてますか。』など、たくさんの質問がありました。質問に答えると、子どもたちは一生懸命 書き留めていました。

今日の学習を通して、この子どもたちが壬生川地域や地域に住む人たちを愛する子どもたちに 育っていってほしいと思いました。来年の北星会館ふれあいまつりには、みんなで遊びに来てくれ ることを楽しみにしています。







いざという時のために火災避難訓練

12月23日(水)エコクラフト教室の生徒さん11名と 火災避難訓練を実施しました。

会館の2階で活動していた生徒さんは、火災の連絡 を聞き、安全に気をつけながら2階から降り、素早 く外に避難することができました。

その後、西消防署員から消火器の使い方について説明を聞き、隣の北星公園に移動し、水消火器を使って初期消火訓練を行いました。









参加した生徒さんたちの家には、消火器があっても、実際にその消火器を使った経験がない人がほとんどで、この機会を利用して全員が消火器を使った消火訓練ができたことは有意義でした。

生徒さん、西消防署のみなさん、ご協力ありがとうございました。



なつかしい映画を楽しむ

12月18日(金)西条市社会福祉協議会のご協力で『ふれ愛シネマ』を開催しました。 上演作は『喜劇 駅前弁当』昭和30年代半ばの老舗駅弁屋さんを舞台に、ストーリーが展開していきました。森繁久彌をはじめ伴淳三郎、淡島千景など、今は亡き名優たちが若々しく、そして美しく演じており、劇中で坂本九が歌ってもいました。当時の服装や風景はなつかしく、うなぎ弁当が150円には驚きです。今ならセクハラやパワハラなのではと思う場面もありましたが、当時は笑いで流されていて、時代の変化を感じました。



教室生人権啓発学習会のお知らせ

今年度も1月末~2月はじめに会館教室生・利用団体等を対象とした学習会を計画しております。詳しくは各教室ごとに、ご案内いたしますので参加をお願いします。

内容「コロナ差別について考える ~コロナに負けない~」

- ・新型コロナウイルス感染症による差別はなぜ起こるのか。
- ・ほかの差別問題との関連について
- 今から私たちはコロナとどう向き合っていくのか。
- ※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、

日程を変更させていただく場合もあります。





